

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 日本製麻株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3306 URL <http://www.nihonseima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 広太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中川 昭人 (TEL) 078-332-8251
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,275	△13.1	11	—	20	—	95	—
2020年3月期	3,767	△2.3	△35	—	△30	—	△10	—

(注) 包括利益 2021年3月期 △18百万円(—%) 2020年3月期 20百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	25.98	—	6.8	0.5	0.3
2020年3月期	△2.78	—	△0.8	△0.8	△0.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,604	2,158	39.6	389.57
2020年3月期	3,784	2,176	36.0	371.20

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,428百万円 2020年3月期 1,360百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	131	58	△79	654
2020年3月期	100	△124	△30	550

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	—	—	3.00	3.00	10	11.5	0.8
2022年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00		7.8	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,679	△2.3	77	26.5	73	5.5	62	△13.2	16.91
通期	3,354	2.4	171	—	163	711.4	141	48.0	38.46

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	3,673,320株	2020年3月期	3,673,320株
② 期末自己株式数	2021年3月期	7,096株	2020年3月期	6,926株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	3,666,250株	2020年3月期	3,666,415株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,396	1.2	108	86.5	101	110.6	128	251.1
2020年3月期	2,367	△2.9	58	67.1	48	98.9	36	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	34.95		—					
2020年3月期	9.95		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	2,053		867		42.2	236.58		
2020年3月期	1,986		725		36.6	198.00		

(参考) 自己資本 2021年3月期 867百万円 2020年3月期 725百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	1,283	5.9	68	△10.3	62	△14.3	16.91	
通期	2,548	6.3	154	51.0	141	10.0	38.46	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的な一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 役員の変動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により社会・経済活動が大きく制限され、景気は大きく後退しました。その後、段階的な経済活動の再開とともに持ち直しの動きも見られましたが、感染症の再拡大により緊急事態宣言が再発出されるなど収束が見通せず、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと当社グループは、コロナ禍において事業ごとに多様な状況で推移しました。食品事業は感染防止対策を徹底して生産活動に取り組み安定供給に努めた結果、期初より当社グループの業績を牽引しましたが、マット事業は前期より合理化を推進し海外生産拠点の立て直しを図ってまいりましたが、販売数量は減少し生産活動のさらなる再構築を迫られました。産業資材事業は、黄麻商品は期末に回復してまいりましたが、包装資材の市場は低迷が続きました。

その結果、当連結会計年度の売上高は3,275百万円（前期比13.1%減）、営業利益11百万円（前期は35百万円の営業損失）、経常利益20百万円（前期は30百万円の経常損失）となり、個別業績において繰延税金資産54百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益95百万円（前期は10百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業資材事業)

黄麻製品は、インドの断続的なロックダウンにより生産または輸送に遅れが生じるなど不透明な状況が続きましたが、期末に入荷があり回復してまいりました。包装資材は、自動車業界用及び食糧用包装資材の取扱数量が減少し減収減益となりました。その結果、売上高は651百万円と前連結会計年度と比べ40百万円（5.8%）の減収、営業利益は14百万円と前連結会計年度と比べ3百万円（17.2%）の減益となりました。

(マット事業)

日本国内及び海外の自動車用フロアマットの販売は、上期の出荷数量の落ち込みが大きく影響し売上高は減少しました。また、リストラにかかる退職費用は利益を圧迫しました。その結果、売上高は1,300百万円と前連結会計年度と比べ535百万円（29.2%）の減収、営業損失は103百万円（前期は99百万円の営業損失）となりました。

(食品事業)

パスタは、新型コロナウイルス感染症が広まった4月から6月、量販店からの引き合いが増えるなど家庭用商品の売上・利益が大きく伸びました。飲食店の営業自粛や時短営業、学校給食の休止などの影響により業務用商品の売上は減少しました。レトルト商品も同様の傾向のなか売上・利益は順調に推移しました。その結果、売上高は1,320百万円と前連結会計年度と比べ83百万円（6.7%）の増収、営業利益は96百万円と前連結会計年度と比べ53百万円（124.3%）の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は3,604百万円、前連結会計年度末と比較して179百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少45百万円、原材料及び貯蔵品の減少46百万円、建物及び構築物の減少20百万円があったためであります。

当連結会計年度末における負債は1,446百万円、前連結会計年度末と比較して160百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少14百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少21百万円、社債（1年内償還予定の社債を含む）の減少50百万円、繰延税金負債の減少42百万円があったためであります。

当連結会計年度末における純資産は2,158百万円、前連結会計年度末と比較して18百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上95百万円があったものの、為替換算調整勘定の減少41百万円、非支配株主持分の減少85百万円があったためであります。この結果、自己資本比率は39.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ103百万円増加し654百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ30百万円増加し131百万円の収入となりました。これは、主として、退職給付に係る負債の減少、たな卸資産の減少に伴う収入が減少したものの、税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の減少に伴う支出が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ183百万円増加し、58百万円の収入となりました。これは、主として前期に定期預金の預入による支出、当期に定期預金の払戻による収入があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ49百万円減少し、79百万円の支出となりました。これは、主として長期借入れによる収入はあったものの、社債の発行による収入はなく、長期借入金の返済による支出が増加したためであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症が経済活動に影響を与えることが予想され、ワクチン接種は開始されているものの収束時期が見通せず、経済の本格的な回復にはしばらく時間を要するものと思われれます。食品事業は家庭用を中心にパスタ、レトルト商品とも衛生管理を徹底して効率的な生産活動に努め、次期においても当社グループの売上・利益の柱になるものと見込んでおります。マット事業は生産拠点の立て直しも進み、回復傾向で推移していくと思われれます。産業資材事業は黄麻商品の拡販を中心に進めてまいります。

次期事業年度は、売上高3,354百万円、営業利益171百万円、経常利益163百万円、親会社株主に帰属する当期純利益141百万円を見込んでおります。なお、為替レートはUSドル105円、タイバーツ3.45円を想定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	648,879	660,547
受取手形及び売掛金	626,209	580,890
商品及び製品	210,099	196,233
仕掛品	176,986	171,982
原材料及び貯蔵品	242,592	196,486
その他	23,845	17,316
貸倒引当金	△181	△233
流動資産合計	1,928,431	1,823,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	236,403	215,578
機械装置及び運搬具（純額）	39,582	41,266
土地	813,041	794,819
リース資産（純額）	14,809	10,860
建設仮勘定	7,260	1,156
その他（純額）	34,025	27,139
有形固定資産合計	1,145,122	1,090,820
無形固定資産	23,351	19,612
投資その他の資産		
投資有価証券	622,765	612,167
関係会社出資金	8,076	7,571
繰延税金資産	30,880	26,779
その他	98,978	98,296
貸倒引当金	△73,488	△73,488
投資その他の資産合計	687,212	671,326
固定資産合計	1,855,687	1,781,759
資産合計	3,784,119	3,604,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	331,155	316,268
短期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	142,436	114,336
リース債務	8,739	8,739
未払法人税等	1,591	1,815
賞与引当金	14,900	30,500
その他	134,524	113,402
流動負債合計	713,346	665,062
固定負債		
社債	340,000	290,000
長期借入金	283,721	290,218
リース債務	26,127	17,387
繰延税金負債	48,549	6,442
退職給付に係る負債	193,970	176,051
長期預り保証金	1,500	1,500
固定負債合計	893,868	781,599
負債合計	1,607,214	1,446,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	564,343	564,343
利益剰余金	630,697	725,945
自己株式	△5,343	△5,390
株主資本合計	1,289,697	1,384,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△55,721	△42,377
為替換算調整勘定	126,985	85,738
その他の包括利益累計額合計	71,264	43,360
非支配株主持分	815,941	730,061
純資産合計	2,176,904	2,158,320
負債純資産合計	3,784,119	3,604,983

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,767,619	3,275,172
売上原価	3,099,195	2,587,066
売上総利益	668,423	688,105
販売費及び一般管理費	703,620	677,102
営業利益又は営業損失(△)	△35,197	11,003
営業外収益		
受取利息	1,577	509
受取配当金	11,148	6,496
為替差益	5,717	11,941
雑収入	4,635	2,295
営業外収益合計	23,077	21,242
営業外費用		
支払利息	7,729	7,706
持分法による投資損失	-	100
社債発行費	4,808	-
支払保証料	3,235	2,556
雑損失	2,383	1,793
営業外費用合計	18,156	12,157
経常利益又は経常損失(△)	△30,276	20,088
特別利益		
投資有価証券売却益	-	404
特別利益合計	-	404
特別損失		
固定資産除却損	-	402
投資有価証券評価損	1,978	931
出資金評価損	300	-
ゴルフ会員権評価損	125	-
特別損失合計	2,403	1,333
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△32,679	19,160
法人税、住民税及び事業税	10,470	6,730
法人税等調整額	15,313	△39,619
法人税等合計	25,783	△32,888
当期純利益又は当期純損失(△)	△58,463	52,048
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△48,267	△43,199
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△10,195	95,248

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△58,463	52,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,673	13,343
為替換算調整勘定	99,615	△83,523
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△404
その他の包括利益合計	78,941	△70,585
包括利益	20,477	△18,536
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	17,842	67,343
非支配株主に係る包括利益	2,635	△85,879

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	564,343	648,226	△5,324	1,307,245
当期変動額					
剰余金の配当			△7,332		△7,332
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△10,195		△10,195
自己株式の取得				△18	△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	△17,528	△18	△17,547
当期末残高	100,000	564,343	630,697	△5,343	1,289,697

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△35,047	78,273	43,226	815,071	2,165,543
当期変動額					
剰余金の配当					△7,332
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△10,195
自己株式の取得					△18
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△20,673	48,711	28,038	870	28,908
当期変動額合計	△20,673	48,711	28,038	870	11,361
当期末残高	△55,721	126,985	71,264	815,941	2,176,904

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	564,343	630,697	△5,343	1,289,697
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			95,248		95,248
自己株式の取得				△47	△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	95,248	△47	95,200
当期末残高	100,000	564,343	725,945	△5,390	1,384,898

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△55,721	126,985	71,264	815,941	2,176,904
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					95,248
自己株式の取得					△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,343	△41,247	△27,904	△85,879	△113,784
当期変動額合計	13,343	△41,247	△27,904	△85,879	△18,583
当期末残高	△42,377	85,738	43,360	730,061	2,158,320

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△32,679	19,160
減価償却費	57,224	50,273
投資有価証券評価損益(△は益)	1,978	931
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△404
持分法による投資損益(△は益)	-	100
出資金評価損	300	-
ゴルフ会員権評価損	125	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△352	61
賞与引当金の増減額(△は減少)	100	15,600
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,349	△8,752
受取利息及び受取配当金	△12,725	△7,006
支払利息	7,729	7,706
固定資産除却損	-	402
売上債権の増減額(△は増加)	14,663	34,639
たな卸資産の増減額(△は増加)	83,304	41,123
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,963	△5,654
その他	30,558	△10,021
小計	109,612	138,159
利息及び配当金の受取額	12,725	7,006
利息の支払額	△8,030	△7,601
法人税等の支払額	△13,482	△6,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,824	131,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,172	△22,392
有形固定資産の売却による収入	230	-
投資有価証券の取得による支出	△8,955	△4,869
投資有価証券の売却による収入	-	672
定期預金の預入による支出	△89,066	△268
定期預金の払戻による収入	-	86,804
関係会社出資金の払込による支出	△7,832	-
預り保証金の返還による支出	△1,000	-
その他	△3,110	△1,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,906	58,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△149,267	△171,603
社債の発行による収入	195,191	-
社債の償還による支出	△160,000	△50,000
配当金の支払額	△7,215	△31
非支配株主への配当金の支払額	△1,765	-
リース債務の返済による支出	△7,015	△8,077
その他	△18	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,090	△79,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,051	△6,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,120	103,518
現金及び現金同等物の期首残高	594,644	550,523
現金及び現金同等物の期末残高	550,523	654,041

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期に関して不確実性が高い事象であると考えております。当社グループは、事業によってその影響や程度が異なるものの、当該感染症による影響が翌連結会計年度以降も一定期間続くものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束が遅延し、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社では事業部を基礎とした製品・サービス別の特性等に基づくセグメントから構成されており、「産業資材事業」、「マット事業」、「食品事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「産業資材事業」は主として黄麻製品、大型包装資材等の販売事業を行っております。「マット事業」は自動車用フロアマット等の製造販売事業を行っております。「食品事業」はスパゲッチ、マカロニ、レトルトソース等の製造販売事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用する会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	産業資材事業	マット事業	食品事業	小計		
売上高						
外部顧客への売上高	691,580	1,836,078	1,236,716	3,764,375	3,243	3,767,619
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	691,580	1,836,078	1,236,716	3,764,375	3,243	3,767,619
セグメント利益又は セグメント損失(△)	18,006	△99,002	43,224	△37,771	2,574	△35,197

(注) 管理部門の減価償却費は共通費として全額各セグメントに配賦しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	産業資材 事業	マット 事業	食品事業	小計		
売上高						
外部顧客への売上高	651,139	1,300,631	1,320,083	3,271,853	3,318	3,275,172
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	651,139	1,300,631	1,320,083	3,271,853	3,318	3,275,172
セグメント利益又は セグメント損失(△)	14,916	△103,529	96,930	8,317	2,685	11,003

(注) 管理部門の減価償却費は共通費として全額各セグメントに配賦しております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額 (円)	371.20	389.57
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	2,176,904	2,158,320
普通株式に係る純資産額 (千円)	1,360,962	1,428,258
差額の主な内訳 非支配株主持分 (千円)	815,941	730,061
普通株式の発行済株式数 (千株)	3,673	3,673
普通株式の自己株式数 (千株)	6	7
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株)	3,666	3,666

項 目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純 損失(△) (円)	△2.78	25.98
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△10,195	95,248
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△10,195	95,248
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3,666	3,666

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません

② その他の役員の変動 (2021年6月25日付予定)

1. 新任取締役候補

取締役	矢部 勲 (現 執行役員ボルカノ食品事業部 北陸工場長)
取締役	石井 則光 (現 執行役員ボルカノ食品事業部 北陸支店長)
取締役(監査等委員)	松浦 綾子 (現 経理部課長代理)

2. 退任予定取締役

取締役(監査等委員)	池田 明穂
------------	-------